

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

# よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.69 2013.5.1



## 福まち通信

菊水福祉のまち推進センター運営委員会  
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10  
電話 011-887-7006 FAX011-811-3831  
URL <http://kikusui-net.jp>



細野福まち推進センター運営委員長挨拶

## 菊水地区福祉のまち推進センター 運営委員会開催

4月12日（金）午後4時より菊水地区会館において、平成25年度の標記運営委員会が開催されました。福まち運営委員、来賓として菊水まちづくりセンター佐々木所長の出席を得て会議が行われました。

福祉のまち推進活動は、地区社協活動の実践組織として住民主体で行われてきました。会議は、平成24年度の事業報告や収支決算書の報告があり、続

いて今年度の事業計画について審議致しました。

福祉のまち推進事業は、地域住民の日常的な支え合い活動、ボランティアによる福祉サービスの推進を基本目標として活動しています。特に、住民組織の役員だけではなく、「ふれあい交流会給食担当の女性たち」や「よつクロ編集委員たち」などのボランティアの熱意に支えられています。

## 福まちの1年をふり返る

福まちの活動は①「ふれあい交流会」のイベント事業 ②高齢者の「見守り活動」③研修・啓発や情報提供などがあります。昨年の活動実績をご紹介します。

### 医療情報キットの配布と見守り活動

福まち事業が代表的に取り組んだものに、「救急医療情報キット」の配布があります。これは右の写真にあるようなプラスチックの筒に、緊急時に役立つ医療情報(病歴、かかりつけ医師、投薬状況(お薬手帳(写し))、医療保険証(写し)、緊急時連絡先など)を入れて自宅の冷蔵庫に保管して、救急隊員が個人の医療情報を容易に活用し、迅速に救命活動などができるために使う大事な道具です。



配布対象は、ひとり暮らしの高齢者全世帯に、民生委員、町内会役員(福祉推進員)の皆さんの手で、一人ひとりにお配りしました。まずは高齢者自身が緊急時に備えた「自助」努力を行ってもらい、続いて福まちの活動である日常的な見守り活動を行う「共助」につなげていくのが目的です。

### 高齢者の健康増進フェア



65歳以上の高齢者を対象に年間2回、家庭に閉じこもりがちな参加者同士の交流と心身のリフレッシュを目的に「高齢者のふれあい交流会」が開催されております。昨年は、第2回目を「高齢者の健康増進フェア」として開催しました。

午前中は菊水劇団による介護予防寸劇「悪徳商法にだまされないでの巻」や保健師さんなどによる「血圧測定や健康相談」が行われました。手づくりコーナーでは簡単な工作で「鏡付ようじ入れ」作りに挑戦しました。お昼にはボランティアのご婦人たち手づくりの美味しい昼ご飯を頂きながら、参加者同士交流を深めました。午後からは演芸があり、「宝来ひょっとこ踊り」の皆さんは、ひょっとこ踊りとソーラン節の踊りを披露し、高齢者の皆さんは笑顔で楽しんでいました。

### 子育て支援事業(子育てサロン)

子育てサロンは、0歳から小学校就学前までのお子さんと保護者の方が自由に集い、あそび、交流できる場です。菊水地区には菊水やよい児童会館において行う公的子育てサロンのほかに、地域で運営している子育てサロンが三つあります。そのうちのひとつである上白石小学校を主会場として行う子育てサロン「ぷりんぷりん」に対して運営費の補助を行っています。このサロンは地域のボランティア団体が上白石小学校との共催で行っており、小学生も参加し交流するユニークな運営方法を取り入れています。



### 福まち研修事業

福まち役員、ボランティアや民生委員などを対象に、福まち活動を進める上で必要な基礎知識を習得するための研修を年2回実施しました。

1回目は「介護保険の使い方と改正された介護保険のポイント」、2回目は「札幌市65歳以上世帯名簿の取り扱いと防災福祉マップの活用について」をテーマにした研修会を行いました。参加者は、熱心に研修を受講しておりました。

## 🍀 広報・啓発事業

月刊福まち通信「よつ葉のクローバー」は、前年度には56号から68号を発行しました。愛称「よつクロ」は、福まち活動を広くお知らせする情報紙として800部印刷し、町内会回覧により皆さんに見ていただいています。そのほか地域内の福祉関係施設や団体に配布しています。菊水地区のホームページや白石区のホームページにも掲載しパソコンで見ることできます。菊水地区のホームページは3年前の秋に公開されましたが、内容が充実していると好評をいただいています。



## 🍀 お年寄りと子どもの交流会



地域でのお年寄りと小さな子どもたちが、「輪投げ」や「ボウリング」などの遊びを通じて交流を深めています。左の写真は、用意された「輪投げ」で参加した高齢者と子どもが楽しく遊んでいるスナップ写真です。実施主体はネットワーク会議の福祉部ですが、福まちとしても地区子供会、やよい児童会館などと一緒に参加し、お手伝いさせていただきます。

## 🍀 高齢者のいきいきサロン

福まち事業の一つとして、地域の高齢者が気軽に楽しく仲間作りができるサロンの開設を進めています。菊水地区のサロン第1号として「お茶の間サロン・チャオ」が平成20年9月に開設されていますが、これに引き続き22年12月に「すこやかサロン P・G」が、23年の3月には「サロン四ツ葉」が開設されています。

# 平成24年度白石区ふれあい・いきいき交流会開催

3月15日(金) 13時30分から白石区区民センター3階の区民ホールにおいて、札幌市白石区社会福祉協議会主催による標記活動交換会が開催されました。参加者は、ふれあい・いきいきサロン登録団体関係者(白石区登録団体)、地区社会福祉協議会役員、地区福祉のまち推進センター活動者等を含め約70名です。

この交流会の開催趣旨は、住み慣れた地域の中で孤立することなく、安心して暮らすことができるように、地域住民の皆さんによる様々なふれあい交流会が開催されています。

標記の活動交流会は、いきいきサロン活動に関わる地域の皆さんが一同に集まり、情報交換や交流会などの機会を通じて活動がさらに地域全体に広がっていくことを目的に開催されました。

講話「みんなで歌い、笑顔であられるひとときを～楽しさの中で、サロンの輪を広げよう!～」

講師は、「うたごえ便よりみち」の石澤佳子代表です。

「うたごえ便よりみち」は、人と人のつながりとふれあいを大切にしたいと考え、「時間と空間の共有」をテーマに、うたごえ喫茶を地域にお届けする活動を行なっています。

この『うたごえ喫茶』は、昭和30～40年代にかけて大ブームになり、次から次へと歌いながら会場が一体になる連帯感、独特の楽しみがあります。そんなカラオケとも合唱とも違う歌声喫茶は、歌うことが好きな方も、聴くだけが好きな方も、一緒に楽しむことができます。

『うたごえ喫茶』は、地域住民同士の交流の活性化と、孤立や引きこもりに役立ちます。

『うたごえ喫茶を開く時の三箇条』は、1、みんなでうたえば怖くない。2、自由にすごす。3、とにかく楽しむ。1) 事前準備 ①選曲は、有名な歌、季節の歌、童謡、唱歌、外国の歌、ご当地ソ

ングなどにする。②歌詞カードは、文字を大きくする。手書きでもパソコンでもOK。

2)実践ノウハウ ①楽器がなくてもできます。②イントロが有名な青い山脈、高校三年生などは、イントロからくちずさんじゃいましょう。③曲の説明（発表年、歌手名、映画やドラマ）で、話がはずみます。

## 幌東小学校の新入学児童にランドセルカバーの贈呈



4月8日（月）午前10時から幌東小学校（白石区菊水6条3丁目、筒井義博=つつい・よしひろ=校長、児童数406人）の入学式に併せて、交通安全の表示付き黄色のランドセルカバーや夜行反射板などが新入学児童88人に贈呈されました。

札幌市交通安全運動推進委員会は、毎年4月に、「春の交通安全市民総ぐるみ運動」（4月6日～15日）の一環として、黄色のランドセルカバーなどの配布の取り組みを実施しています。

当日、同校の正面玄関前において、札幌方面白石警察署、白石区交通安全運動推進委員会、菊水地区交通安全母の会、地域交通安全活動推進委員協議会、白石区老人クラブ連合会（女性部）の各団体の約20名が、保護者に手を引かれて登校してきた新入学児童の一人一人に、

「入学おめでとう」、「車に気をつけてね」と声を掛けて、丁寧にランドセルカバーを取り付けました。また、今回は、白石区老人クラブ連合会女性部の皆さんが、手作りした交通安全啓発のマスコット人形を一人一人に手渡しました。新入学児童は、地域のお年寄りから人形を受取り、「ありがとう」と元気にお礼をしました。

今年度、白石区内では、同校を含め20校の小学校で新入学児童に、黄色のランドセルカバーなどを配布しました。



### 編集後記

春は、人事異動の季節となり、出会いと別れの時となります。お世話になりました菊水まちづくりセンター諏佐所長さんが異動されました。

その後任として佐々木直人所長さんが着任されております。新所長には、これからお世話になります。どうぞ宜しくお願いします。

今月号は、菊水地区福祉のまち推進センター運営委員会、福まちの1年をふり返る、平成24年度白石区ふれあい・いきいき交流会開催、幌東小学校の新入学児童にランドセルカバーの贈呈の記事を中心に編集しました。

（品川）

4月1日付けで菊水まちづくりセンターの所長として着任いたしました佐々木と申します。どうぞよろしくお願いたします。



地域の方々に接し、まちづくり活動に携わるのは初めてですが、歴史と伝統のある菊水のまちなりのさらなる発展のため、皆様から様々なお話をお聞かせいただき、微力ではありますがお手伝いをさせていただきたいと考えております。

今後、皆様には何かとお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

菊水まちづくりセンター所長 佐々木 直人